

19年度の事業の方向性（案）

1 事業のねらい

これまでの本市における学校評価の実践に伴う課題等を整理するとともに、学校評価ガイドラインに基づく本市における望ましい学校評価システムの在り方等について研究し、その成果を全市に発信することにより、各学校における学校評価システムの一層の充実に資する。

2 事業全体の概要

川崎市学校評価
事業運営委員会

望ましい学校評価システムの在り方等について検討・協議

【主な内容】

- 本市の現況把握と課題の整理
- 学校評価についての基本的な考え方
- 川崎市版学校評価システムモデルの提示
 - 学校評価の全体構想（年間計画、組織）
 - 評価項目や指標例の作成
 - 児童生徒、保護者等へのアンケート内容
 - 自己評価の実施方法
 - 自己評価書の書式や内容
 - 外部委員会の組織編成や運営内容
 - 外部評価書の書式や内容
 - 評価結果の説明・公表(Web 発信)方法
 - 情報提供の在り方
 - 評価結果に基づく改善策の検討・実施
- 教育委員会の取組
 - 評価書の教育委員会への提出方法
 - 支援や条件整備を行う組織の確立
 - 学校への具体的な支援や条件整備の内容
 - 学校評価に対する指導・助言体制の確立

研究協力校

学校評価ガイドラインに基づく実践研究

【主な内容】

- 経営計画・目標の設定
- 自己評価に係る実践
 - 校内評価組織の設置
 - 評価項目・指標の作成
 - 児童生徒、保護者等へのアンケートの実施
 - 自己評価の実施
 - 自己評価書の作成
 - 自己評価書の外部評価委員会への提出
- 外部評価に係る実践
 - 外部評価委員会の設置と開催
 - 外部委員会による評価の実施
 - 外部評価書の作成
 - 外部評価書の学校への提出
- 学校評価のまとめ
 - 学校評価書の作成
 - 評価結果の説明・情報提供
 - 学校評価に係る Web ページの作成と公表

連携・協力・支援

研究資料（評価書等）の提出・報告

パンフレット・報告書の作成、Web ページでの公表

川崎市における望ましい学校評価システムの確立

3 18年度の取組

■学校評価事業運営委員会（3回）

- 本市の現状把握と課題の整理
- 基本的な考え方等の整理
- 研究協力校の実践の把握

等

- Web ページの作成・公表
- パンフレットの作成と全教職員への配付

■研究協力校：6校

小学校：川中島、東小田、南河原、土橋
中学校：有馬、長沢

- 学校評価ガイドラインに基づく実践研究

- 事業運営委員会での実践報告・資料の提出
- Web ページの作成・公表

4 19年度の取組

■学校評価事業運営委員会

5～6回の開催を予定

- 川崎市版学校評価システムモデル案の作成
- 教育委員会の取組について検討
- 研究協力校の実践の把握・支援

等

- Web ページの作成・公表
- 報告書の作成と全校への配付

■研究協力校：11校

18年度から継続：6校

19年度より新規：5校

小学校2校、中学校2校、特別支援学校1校を新規募集

- 学校評価ガイドラインに基づく実践研究

- 事業運営委員会での実践報告・資料の提出
- Web ページの作成・公表